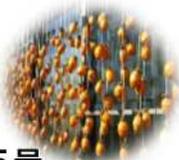


コミュニティ・スクールだより



第25号

名張市教育委員会事務局発行
令和3（2021）年12月8日

「地域とともにある学校」の運営に必要な機能

～学校運営協議会の運営・協議の改善～

「地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）」の運営に欠かせない機能（3つの視点）があります。「熟議」「協働」「マネジメント」の3つです。その中でも「熟議」は、学校運営協議会において、学校と地域が、ビジョンや課題、情報等を共有し議論をすることで意思を形成する重要な場であり、学校と地域が連携・協働していくための基盤とされています。「熟議」とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことです。

地域連携を深め、地域とともにある学校づくりを進めるためには、学校運営協議会の協議の一層の充実が欠かせません。この中で「熟議」が活発に行われる市内小中学校の学校運営協議会が増えてきました。「コロナ禍でもできる取組」や「コロナ禍だからこそできる取組」を地域とともに創意工夫して進めている学校があり、子どもたちや地域にとってよりよい成果も現れてきています。報告や説明、意見交流で終わるのではなく、学校の課題の解決につながる充実した協議や熟議となるよう工夫していきましょう。今後も、学校運営協議会（各部会を含む）での熟議が盛んになり、学校教育目標やめざす子ども像の実現に向けた保護者・地域との連携・協働が進むことを願っています。

熟議で共有したビジョンや目標の体制に向けて、力を合わせて「子どもたちのため」に取り組めます。熟議で出た意見は、すぐに全てが実行できるわけではありませんが「できることから協働を始める」ことで、徐々に多くの人が関わる協働体制が構築されていきます。

【運営・協議の工夫】



各学校運営協議会の熟議の様子・工夫

箕曲小学校

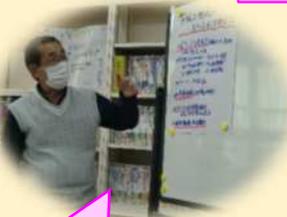


2グループに分かれて熟議、発表テーマ
「少人数を生かした学校教育・発信方法・地域との連携」



学校・地域・PTAでそれぞれ取り組んでいくことを確認しました。

蔵持小学校



グループで話し合ったことを発表しています。（全体交流）



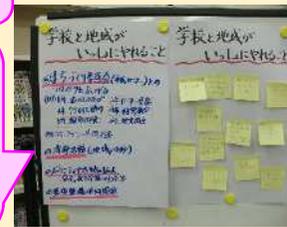
前回の熟議で「どんな子どもになってほしいか。できることは。」についての意見をまとめて提示しました。

タブレット端末を活用して、前回の付箋を拡大して見ることができました。



3グループに分かれて熟議、ブレインストーミングをして意見をまとめ、発表テーマ
「学校と地域が一緒にやれることは」

話し合ったことをまとめました。また確認ができるように「見える化」しました。



比奈知小学校



★学校と家庭地域で協働してできること＝ピンク色付箋
★地域でできること＝黄色付箋

全体で協議する中で「地域課題」も出されました。



グループで話し合ったことを発表しています。

2グループに分かれて熟議、発表テーマ「『自分が好き』と感ぜられる子どもの育成について」

次は、学校、家庭、地域それぞれができることを考えていきます。

熟議したことから、区分しました。
①すぐに取り組めるもの
②継続的に協議が必要なもの
③時間をかけて様々な調整しながら実現していく必要があるもの